

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【西原中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 第3学年を中心に、国語科の「読むこと」や語彙力の点で課題があり、思考・判断・表現の面でも影響を及ぼしている。 <指導上の課題> 生徒の進歩を丁寧に拾う時間が十分でなく、概念的な理解について十分なフォローができていない。	⇒ 授業での説明のほかに、全校でスタディサプリに取り組む時間の設定や、宿題配信など、基礎定着のための機会を確保する。【スタディサプリの時間：年間15回】 ⇒ 確実な基礎の定着のため、数学とG・Sの授業内で単元テストや語彙力テスト（スプリングコンテスト）などの基礎テストを繰り返し行う。【スタサプタイム：年15回、単元テスト：年4～5回、スプリングコンテスト：年10回】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 数学の証明問題など、自分の言葉で説明することに苦手意識があり、無回答率もやや高い。 <指導上の課題> 話し合い活動など、自分の意見をいう場面で、発言できる生徒を中心に授業が進んでしまい、生徒全体の能力向上につながらないケースが多い。	⇒ 新聞記事をもとにしたワークシートを利用して朝学習で「読解力向上タイム」の取組を行い、現代社会の出来事や、使われている言葉についての理解を深める。また、記事の要約や生徒同士の意見交換を通じて、読む力と自分の言葉で説明する力を養う。【20分×年10回】 ⇒ グロウスログやYWTでの家庭学習および授業振り返りを継続し、書くことを習慣づけさせる。【単元ごと・各教科の授業】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)